

令和2年9月

青森県議会第303回定例会

公益社団法人青森県観光連盟
経営状況説明書

青 森 県

公益社団法人青森県観光連盟経営状況説明書を地方自治法
第243条の3第2項の規定により提出する。

令和2年9月18日

青森県知事 三 村 申 吾

第1 令和2年度事業計画

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

令和2年度は、観光振興と青森県観光物産館管理運営のため、次の事業を実施するものである。

1 観光振興事業

(1) 開発推進事業

① 観光開発推進事業

インバウンドや国内旅行者に対して、より魅力的な観光コンテンツを提供するため、関係自治体、観光団体、観光事業者等と協働で観光コンテンツの発掘と磨き上げを行っていく。

またインバウンドに精通した旅行会社等を活用し、県内各所での体験や宿泊を伴う周遊観光を促進するための旅行商品企画を創出するとともに、各地域にある観光・体験素材を取り入れたプログラムや周遊旅行商品を多言語化し、当連盟のホームページに掲載PRのうえ、予約システムを導入して販売を促進するとともに、インバウンド客に選好される旅行商品のマーケティングを実施する。

また、インバウンド旅行者の満足度向上のため、県内観光事業者等のおもてなし力向上を図る。

併せて、ランドオペレーターとの連携による海外への発信及び東京オリンピック・パラリンピックの機会を生かした本県の認知度向上に向けたPRを行い、来訪者の増加及び観光消費の拡大による地域振興を図る。

ア 県内観光コンテンツ発掘調査

イ 旅行商品企画の創出

ウ ホームページの多言語化・予約決済システムの導入

エ 当連盟ホームページに掲載・販売するインバウンド旅行者向け旅行商品のデータ分析を実施し、言語別顧客の傾向を把握し以降の旅行商品のブラッシュアップ等を行う。

オ インバウンド観光客向けのおもてなし力の向上を図るため、県内観光事業者等にコンサルタントを派遣し、課題等を抽出しながら、具体的なアドバイスを行う。

カ ランドオペレーターとの連携による情報発信

キ 東京オリンピック・パラリンピックの機会を生かしたPR

② 宿泊施設魅力向上対策事業

観光客の宿泊利用促進を図るため、アドバイザー等を活用し、魅力向上策の検討及び改善実践を行うほか、魅力向上を図るための普及を行う。

③ テーマ別観光資源魅力向上事業

県内滞在及び旅行消費の促進を図るための企画を創出する。

④ 教育旅行誘致事業

本県への教育旅行の誘致を促進するため、教育旅行関係団体・教育旅行エージェント等との連携を図りながら各種事業を重点的に実施する。

- ア 教育旅行誘致促進連絡会議の開催
- イ 教育旅行促進強化事業

⑤ コンベンション誘致事業

本県観光産業の振興に効果が高く、本県観光のイメージアップやブランド力の強化にもつながるコンベンションを誘致するため、本県開催の動機付けとなるコンベンション開催費助成事業を実施するとともに、県内外の大学、団体、企業等への誘致活動を展開する。

- ア コンベンション誘致促進連絡会議の開催
- イ あおもりMICE誘致活動事業
- ウ 大規模MICE開催費助成事業

(2) 情報発信事業

関係機関と連携した県内外イベントへの参画やガイドブックの作成等のPRを行うほか、IT技術等を活用しながらターゲットに合わせた効果的かつ効率的なプロモーション活動を通じた情報発信を展開する。

① 東北DC青函推進委員会事務局

2021年4月から9月までの6か月間実施される、東北6県DC（道南地域含む）の本県事務局を担う。

東北全域エリアを総括する事務局は東北観光推進機構が担うこととしており、観光連盟は青森県とともに「青森県部会」を構成し、本県独自に行う事業の推進母体となる。

- ア 東北DC青函推進委員会の設立・総会の開催
- イ 全国宣伝販売会議（令和2年6月2日）の準備・運営補助
- ウ 地域連絡会議の開催
- エ 青森県独自のエキスカーションの実施
- オ 青森県独自の着地型ガイドブック等の制作
- カ 青森県内を周遊させる企画の実施
- キ ポスター・掲示物の制作
- ク 各種プロモーション
- ケ 観光資源のブラッシュアップ、受入意識醸成等

② 観光キャンペーン推進事業

北海道新幹線開業や青森県・函館デスティネーションキャンペーン（以下「青函DC」）の効果を持続させ、本県を中心とした周遊観光を促進するため、JR東日本や（公社）日本観光振興協会、青森県等と連携し、観光ガイドブックの配布や、首都圏等における各種観光等イベントへの参画を通じて本県観光資源の魅力を全国にPRし、一層の誘客促進を図る。

- ア あおもり紀行キャンペーンスタッフの任命
- イ 観光イベントガイドブックの作成
- ウ リゾート列車の運行に係る協議会への参画
- エ 広告宣伝の展開等
- オ 観光イベント等への参画
- カ 青森県観光セミナーの開催
- キ 旅行商品造成対策

- ③ 青森県・函館誘客促進プロモーション事業
ア PRイベントの実施・参加
イ 青函周遊商品販売促進キャラバン等の実施
ウ 博多どんたく港まつりにおけるPR

- ④ 観光情報ネットワークシステム運営事業
本県を訪れる観光客等が、観光情報をインターネットにより入手できるよう県・市町村等と連携し、青森県観光情報サイト「アプティネット」の運営・管理を行う。

- ⑤ キーインフルエンサー獲得事業
生活者・消費者の行動に影響を与えるインフルエンサーによる本県観光情報等の発信活動を強化するため、発信力、到達力、信頼獲得力を備えたキーインフルエンサーの獲得を図る。

(3) インバウンド対策事業

台湾・中国・韓国・香港を中心とした東アジアからの誘致活動を展開するほか、受入意識・サービス向上など受入対応力を強化していくことにより、来訪者の満足度向上及び観光消費の拡大に努める。

① あおもりグローバルラウンジ運営事業

来県された国内外の観光客に対し、くつろいでいただきながら、多言語による観光案内・情報発信等サービスを行うことにより、周遊観光を促進するため「あおもりグローバルラウンジ」を運営する。

- ア 多言語（日本語・英語・中国語・韓国語）による、県内全般の観光案内
イ チャット機能による多言語観光案内
ウ SNSを活用した多言語による情報発信
エ ラウンジにおける飲料提供
オ 多言語による観光PRパネル展示
カ 県内周遊旅行商品の販売等

② 国際観光推進連絡会議の開催

インバウンド誘致など国際観光の推進に係る取組について、情報共有を図るとともに、課題整理・解決に向けた検討を行うため、関係者による連絡会議を開催する。

③ 韓国誘客対策強化事業

青森・ソウル線を利用する韓国からの観光客の誘客促進を図るため、大韓航空、韓国旅行エージェントと連携して誘客宣伝事業等を実施する。

- ア 韓国旅行商品造成手配会社の招請
イ 新規旅行商品等造成広告支援
ウ FITエージェント及び大韓航空との共同プロモーション
エ インセンティブツアー実施団体の招請
オ インセンティブ商談会への出展PR

④ 「北東北三県・北海道ソウル事務所」運営事業

韓国からの観光客の誘致を推進するため開設した「北東北三県・北海道ソウル事務所」の運営に参画する。

- ⑤ 韓国現地商談会実施等事業
 韓国との経済交流を促進するため、物産商談会への出展PRやバイヤーの招聘により、県産品等の認知度向上及び販路開拓を図る。
 ア 物産商談会への出展PR
 イ 韓国食品関連バイヤーの招聘
 ウ 北東北三県・北海道ソウル事務所と連携した、県内企業のビジネス開拓支援
- ⑥ 台湾人観光客誘致拡大事業
 国際定期便や県外空港を利用して来県する台湾からの観光客の誘客促進を図るため、台湾旅行エージェントと連携して誘客宣伝事業等を実施するとともに、現地で行われる観光イベントに参加し、情報発信を行う。
 ア 立体観光促進の支援
 イ 台湾でのプロモーション活動（観光博出展、エージェント訪問など）
 ウ 台湾での観光博出展に係る調整
- ⑦ 国際定期便対策事業
 青森空港発着の国際定期便を利用して来県する台湾からの観光客の誘客促進を図るため、台湾旅行エージェントと連携し誘客宣伝事業等を実施する。
- ⑧ 台湾・韓国旅行会社等招請事業
 伝統芸能・文化・工芸品等をフックに、台湾・韓国への情報発信や誘客促進を図るため、旅行エージェントを招請し視察研修を行う。
- (4) その他観光振興事業
- ① マーケティング推進事業
 観光振興に係る業務について効率的な実施及び最大限の効果を得るため実施内容の効果検証や改善に向けた取組を継続する等、体系的なマーケティング活動を強化していくものである。
- ② 「もてなしの心」運動推進事業
 本県を訪れた観光客を温かくもてなすため、県民及び観光事業者に対して「もてなしの心」の気運醸成を図る。
 ア クリーン大作戦の実施
 イ 観光ガイド推進連絡会議の開催
 ウ 観光ガイド研修の実施
- ③ 観光案内所連携強化事業
 県内観光案内所の連携による観光情報の共有及び観光案内体制の充実強化を図る。
 ア 青森県内観光案内所連絡会議の開催
 イ 青森県内観光案内所スタッフ現地研修会の開催
 ウ 東北の観光案内所のネットワーク化事業への参画（予定）
- ④ 観光功労者表彰
 観光思想の普及による観光振興に向けた意識の高揚や受入体制の整備を図るため、本県の観光振興に顕著な功績が認められる者を表彰する。

⑤ 観光振興事業

(公社) 日本観光振興協会が全国的又は重点的に実施する全国広域観光振興事業に対し拠出する。

⑥ 広域観光振興事業

- ア 北東北三県観光立県推進協議会の事業への参画
- イ 東北観光推進機構の事業への参画 (ブロック会議等出席)
- ウ イルミネーション及びライトアップ機材の貸出し

2 青森県観光物産館管理運営事業

(1) 観光資源紹介事業

① 青い森ホール/360° 3Dデジタル映像シアター情報発信事業

令和元年7月27日にグランドオープンした青い森ホール/360° 3Dデジタル映像シアターにおいて、本県ならではの自然、歴史、文化等の美しさ、素晴らしさを体感できるデジタル映像を上映し、本県を訪れる外国人旅行者等にエンターテインメント性と臨場感溢れる3D映像と音響を体感いただき、本県の新たな魅力発見と県内周遊の広域化及び再来訪の「きっかけづくり」等、本県の魅力伝達の一層の促進を図る。

② 13階展望台情報発信事業

13階展望台では地上51メートルから、青森市街はもちろん、下北・津軽などの半島やむつ湾、八甲田山系、岩木山など、360度の眺望を楽しめるが、昨年度に引き続き夜間利用時間の延長等を行い、更なる魅力アップを図る。

③ 主催イベント展開事業

アスパムの館内外において、県や市町村、観光・物産・産業関連団体、文化施設等と連携し、本県の観光、物産、郷土芸能、文化、食、産業などを紹介する各種イベントを展開する。

昨年に引き続き、主催イベントの見直しを図り、想定するターゲット別 (インバウンド向け・県外客向け・地元向け等) に分類した上で、その客層に向けて、青森ならではの地場産品や地域資源等を活用し、特別な時間や様々な体験、サービスを提供するような「コト消費」を意識したイベントを展開する。また、県内各地域や交通機関、各時期の祭りや周辺の各種イベント、JR東日本が実施する大人の休日倶楽部パス等とも連動して実施する。

(2) 貸会議室事業

本県の産業振興と雇用促進を図るため、館内の会議室を本県の観光、物産、郷土芸能、産業、文化、食などの振興につながる地域おこし事業の活動の場、若年者の雇用促進のための職業相談や各種セミナー、教育旅行で来館する学校や教育旅行団体の体験学習の会場として貸出しする。

(3) 青森県地場セレクト運営事業

県内外からの観光客や外国人観光客に向けて地場産品等を紹介・宣伝し販路拡大とPRを図るとともに、新たに県産酒を店頭で楽しめるブースの新設や多言語による地場産品紹介やスマートフォン決済機能の充実など、利用者の利便性や満足度向上を目指す。

① 地場産品等の販路拡大と商品開発等

こだわりや物語性のある地場産品を紹介・宣伝するほか、新たな地場産品等に対して消費者の反応や改良点などを確認できるテストマーケティングの場を提供する。

② 外国人観光客向けの県産品PR機能の強化

外国人観光客向けに、多言語商品案内アプリ「Payke」等を活用した特設コーナーを設置し、商品情報の発信や認知度向上、さらには外国人の嗜好性が高い商品等のマーケティングを実施するほか、中華圏をはじめとするスマートフォン決済システムを導入し、受入体制の整備を行う。

③ 県産酒の販売・PR

昨年度取得した酒類販売免許を活用し、県産酒の販売・PRを行う。

(4) テナント事業

本県の産業振興と雇用促進を図るため、本県の主要な施設であるエネルギー施策のPRのための展示・体験施設と雇用支援の情報提供施設としてのハローワーク関連施設やジョブカフェ等を入居させ、その事業活動の場を提供する。

(5) 市町村ホール等運営事業

① 市町村ホール観光情報発信事業（（公財）青森県市町村振興協会助成事業）

2階市町村ホールでは、観光PR展示パネル等を一新し、市町村の情報や文化源・地場産品等の魅力を多言語でPRするほか、外国人観光客に対し、観光コンシェルジュによる観光案内等を行う。

② 郷土芸能等情報発信事業

アスパム1・2階において、県内市町村の郷土芸能や祭り、地場産品や伝統芸能等を映像や展示・実演で紹介する。また、本県を代表する伝統芸能である津軽三味線の無料演奏会やねぶた祭りの囃子講習会を実施する。

3 収益事業

(1) イベントスペース

土日祝日以外の平日や閑散期の貸出し増加に向け、利用者の新規開拓を行うほか、1階エントランスホール及び2階青い森ホール及び13階展望台等の館内イベント可能スペースの認知度を向上させ、利用拡大を図る。

(2) 貸会議室

WEB上からの予約申込みや空室状況システムが定着しつつあるため、事務処理を含めた更なる高度化を図るとともに、会議室の利用率向上に向け利用の多い業種や新規職種への営業活動を積極的に行う。

(3) テナント事業

アスパムには、これまで土産品店（5店舗）と飲食店（2店舗）がテナントとして入居していたが、令和2年4月より、新たに飲食店1店舗が新規オープンすることとなるなど安定収益の確保に努めている。また、館内テナントとの連携組織である「アスパムしんこう会（テナント会）」において、引き続き、アスパム来訪者の購買意欲や満足度向上のため各種取組を積極的に行う。

(4) 青森県観光物産館駐車場管理等運営事業

アスパムの一般駐車場及び大型バス駐車場収入は、収益の大きな柱となっていることから、増収を図るため、利便性・優位性について積極的にPRするとともに近隣のホテル・企業等への駐車場の各種営業や、大型バスの営業についても県内学校団体や県外旅行会社等へ積極的にPRする。

(5) 旅行業運営事業

観光開発推進事業で開発された観光素材を中心に、主催旅行を軸とした旅行商品化を行い、観光連盟ホームページやアスパム内「あおりグローバルラウンジ」等で販売する。

第2 令和元年度事業実績

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

令和元年度の事業実績は、次のとおりである。

1 観光振興事業

(1) 開発推進事業

① 観光開発推進事業

- ア 訪日外国人旅行者（主にアジア圏向け）周遊促進事業による旅行商品企画の創出
- イ 訪日外国人旅行者（主に英語圏向け）旅行商品企画の創出
- ウ 県内観光コンテンツ発掘調査

② 宿泊施設魅力向上対策事業

観光客の宿泊利用促進を図るため、アドバイザー等を活用し、魅力向上策の検討及び改善実践を行った。

③ 訪日グローバルキャンペーンに対応したコンテンツ造成事業

主に欧米豪をターゲットに、ナイトタイム・モーニングタイムエコノミーをテーマに県内の旅行会社と連携を図り、7つのコンテンツを造成した。

④ テーマ別観光資源魅力向上事業

県内観光資源のうち、特定のテーマ（クリスマス・りんご）について周遊する旅行商品を造成し、モニターツアーを実施したほか、冬季の県内周遊観光を促進するため「クリスマス」に関連する（クリスマスマーケット）情報発信を行った。

- ア 「りんご」関連のモニターツアー
- イ 「クリスマス」関連のモニターツアー
- ウ 「クリスマスマーケット」の情報発信（11～12月実施）

⑤ 教育旅行誘致事業

本県への教育旅行の誘致を促進するため、教育旅行関係団体・教育旅行エージェント等との連携を図りながら、以下の各種事業を実施した。

- ア 教育旅行誘致促進連絡会議の開催
- イ 教育旅行各種セミナー・シンポジウムへの参加
- ウ 教育旅行促進強化事業

⑥ コンベンション誘致事業

本県へのコンベンション誘致のため、コンベンション開催費助成事業を実施するとともに、関係団体等への誘致活動を積極的に行った。

- ア コンベンション誘致促進連絡会議の開催
- イ あおもりMICE誘致活動事業
- ウ コンベンション開催費助成事業

(2) 情報発信事業

① 観光キャンペーン推進事業

J R東日本や（公社）日本観光振興協会、青森県等とタイアップし、首都圏等における各種観光イベントや観光物産展等に参画するとともに、マスコットキャラクター「いくべえ」を活用しながら観光PR等を実施した。

また、観光ガイドブック等の作成やリゾート列車の運行に係る協議会への参画等を通じて、本県の観光資源の魅力を全国にPRし、本県への一層の誘客促進を図った。

- ア あおもり紀行キャンペーンスタッフの任命
- イ 観光イベントガイドブックの作成
- ウ 観光イベント等への参画
- エ 青森県観光セミナーの開催
- オ 商品造成対策
- カ リゾート列車の運行に係る協議会への参画
- キ 航空路線活用対策

② 青森県・函館誘客促進プロモーション事業

- ア 青函周遊商品販売促進キャラバン等の実施
- イ 青森県・函館観光キャンペーン推進業務の実施
- ウ 博多どんたく港まつりにおけるPR

③ 観光情報ネットワークシステム運営事業

本県を訪れる観光客等が、観光情報をインターネットにより入手できるよう、県・市町村等と連携し、青森県観光情報サイト「アプティネット」の運営・管理を行った。

④ キーインフルエンサー獲得事業

生活者・消費者の行動に影響を与えるインフルエンサーによる本県観光情報等の発信活動を強化するため、発信力、到達力、信頼獲得力を備えたキーインフルエンサーの獲得を図った。

(3) インバウンド対策事業

① あおもりグローバルラウンジ運営事業

来県された外国人観光客に対し、くつろいでいただきながら、多言語による観光案内・情報発信等サービスを行うことにより、周遊観光を促進するため「あおもりグローバルラウンジ」を運営した。

- ア 多言語（日本語・英語・中国語・韓国語）による、県内全般の観光案内
- イ 人工知能を活用したチャットボットによる多言語観光案内
- ウ SNSを活用した多言語による情報発信
- エ ラウンジにおける飲料提供
- オ 多言語による観光PRパネル展示
- カ 県内周遊旅行商品の販売

② 国際観光推進連絡会議の開催

インバウンド誘致など国際観光の推進に係る取組について、情報共有を図るとともに、課題整理・解決に向けた検討を行うため、関係者による連絡会議を開催した。

③ 韓国誘客対策強化事業

青森・ソウル線を利用する韓国からの観光客の誘致促進を図るため、大韓航空、韓国旅行エージェント等と連携して誘客宣伝事業等を実施した。

ア 韓国旅行エージェントファムツアーの実施

イ 広告支援金の交付

ウ その他、韓国からの誘致促進に効果的な業務

④ 北東北三県・北海道ソウル事務所事業

韓国からの観光客の誘致を推進するため開設した「北東北三県・北海道ソウル事務所」の運営に参画した。

⑤ 韓国現地商談会等事業

韓国との経済交流を促進するため、北東北三県・北海道の共同事業として、韓国における商談会や韓国バイヤーの招聘等を実施し、バイヤー等に県産品等をPRすることにより、県産品等の認知度向上及び販路開拓を図った。

ア 商談会参加

イ バイヤー招聘業務

ウ ビジネス開拓支援

⑥ 台湾人観光客誘致拡大事業

青森県へのチャーター便及び国際定期便、国内定期便を利用して来県する台湾からの観光客の誘客促進を図るため、台湾旅行エージェントと連携して誘客宣伝事業等を実施した。

ア 広告支援金の交付

イ 台湾における青森プロモーション

ウ 台湾からのチャーター便お出迎え・お見送り

エ 台湾からのMICEの歓迎対応

⑦ 青森・台北線利用促進事業

台湾大手旅行社のホームページにバナー・本県観光コンテンツ紹介ページを設置するなど、個人旅行者に対する情報発信を行った。

(4) その他観光振興事業

① マーケティング推進事業

観光振興に係る業務について効率的な実施及び最大限の効果を得るため実施内容の効果検証や改善に向けた取組検討を行った。

② 「もてなしの心」運動推進事業

本県を訪れた観光客を温かくもてなすため、県民及び観光事業者に対して「もてなしの心」の気運醸成を図った。

ア クリーン大作戦の実施

イ 観光ガイド推進連絡会議の発足

- ③ 観光案内所連携強化事業
 - ア 観光案内所連絡会議の開催
 - イ 観光案内所現地スタッフ研修会の実施
 - ウ 東北の観光案内所のネットワーク化事業への参画
- ④ 観光振興事業

(公社)日本観光振興協会が全国的又は重点的に実施する全国広域観光振興事業に対し拠出した。
- ⑤ 広域観光振興事業
 - ア 北東北三県観光立県推進協議会の事業への参画
 - イ 東北観光推進機構の事業への参画
 - ウ イルミネーション及びライトアップ機材の貸出し
- ⑥ 観光事業者等に対する衛生対策等説明会運営事業

新型コロナウイルス感染症の県内観光施設や宿泊施設等に対し、衛生対策の情報提供及び国・県などによる事業者向け各種支援策を紹介するための説明会を開催し、併せて消毒剤の配布を行った。

2 青森県観光物産館管理運営事業

(1) 観光資源紹介事業

- ① 青い森ホール「パノラマ映画」グランドオープン

3月15日にリニューアルした青い森ホール「パノラマ映画」に、冬及び春をテーマとした新たな映像コンテンツが追加され、予定していた四季の映像コンテンツが全て完成した。これを記念し、グランドオープン記念セレモニー及びメディア内覧会を開催した。
- ② アスパム・スター・シアターの運営

個人で来県される観光客向けの夜を楽しむコンテンツとして、青森在住のタイムラプス映像作家「aomori gonta」氏の協力により、青森県内で撮影したタイムラプス映像を4Kで上映する「アスパム・スター・シアター」の運営を、青い森ホールにおいて開始した。
- ③ 青い森ホールの多目的利用

「全国都道府県対抗eスポーツ選手権2019IBARAKI」青森県予選での活用を始め、青い森ホールの多目的活用を推進した。
- ④ 季節ごとの館内装飾の実施

季節と館内イベントに沿った装飾、フォトスポットを設置した。
- ⑤ ホームページやSNSを活用した情報発信

4月にアスパム公式Instagramを開設、7月にホームページをリニューアルした。またTwitterやFacebookでも主催イベント等の情報を発信した。

(2) 青森県地場セレクトの取組

① 新商品開発アドバイス

蓬田村役場からの依頼により、地場セレクトスタッフが商品アドバイザーとしてトマト加工グループの商品開発に協力し、「味・コンセプト・パッケージ」などのアドバイスを行い新商品トマツレが完成した。

② 新元号フォトスポット設置及び「新元号干支ねぶた」の開発販売

新元号をモチーフにしたフォトスポットを設置し、県内外の観光客やインバウンド客の人気を博した。また、地場セレクトが開発をアドバイスして完成した「新元号金魚ねぶた（弘前市津軽藩ねぶた村製作）」のPRを併せて行った。

③ ジョブキッズあおもり職場体験受入れ

青森県の物産を紹介するジョブアトラクションを実施、期間中各日4名の小学生を受け入れ、販売に関する仕事の体験を行った。

④ アニメKING OF PRISM -Shiny Seven Stars-とのコラボ企画

人気アニメ作品KING OF PRISM -Shiny Seven Stars-に登場する青森県出身のアイドルとアスパムとのコラボグッズの販売や企画を実施。9月1日（日）にはリニューアルしたアスパム2階のパノラマ映画館での応援上映を行い、県内外からのファンが参加した。

(3) 主な主催・共催イベント

① アスパム彩りcafé

青森県三大ソフトクリームをはじめ、青森県内のカフェやスイーツ店、キッチンカー出店の他、人気ハンドメイド作家によるワークショップ（製作体験）等を実施した。

また、弘前市内のふくろうカフェによるふくろうふれあいコーナーを設置し、お客様に写真撮影等を楽しんでいただいた。

② あおもり肉（にく）フェス2019

青森県の肉食文化に注目し、「青森県ならではの」の食文化等を紹介・商品を提供することで県内外からの誘客を図った。また「首都圏の人気飲食店」と「県産食肉」とをコラボさせ、青森県民に「県産品」を誇りに感じてもらい、良い品物ということを再認識してもらう機会となった。

③ 2019アスパム夏まつり

青森県の地場産品を一堂に集めた大物産展（46業者出展）を開催し、夏祭りで本県を訪れる観光客に広く紹介した。人気アニメ主題歌歌手のサイン会の実施や、新規企画で子供も楽しめるような雑貨・クラフト販売を行った。

④ ドイツビアフェストinアスパム（新規）

ドイツの公式醸造所のビールを中心に県内の地ビール等を集めた『ドイツビアフェスト』を県内で初めて実施した。大規模な装飾やドイツ楽団によるライブの実施など、本場ドイツに限りなく近い演出により、お客様に非日常感を楽しんでいただいた。

⑤ 2019青森県市町村まつりinアスパムあおもりりんご大祭典

青森県産りんごやりんごを使った期間限定スイーツ・ジャンボアップルパイの他、青森県の市町村の物産販売とりんご娘ライブや青森りんごを使った料理教室を開催した。

⑥ CHRISTMAS MARKET in アスパム

本県と親和性の高い食材利用によるメニューの提供など「青森ならではの」のクリスマスを提案、屋外ヒュッテの増設、会場装飾の充実、音楽イベントや併催企画の増加など、内容を昨年以上に強化したことで、冬季中核イベントの実現による誘客効果を通じた域外交流・本県経済の活性化を促した。また、本県を中心に活動しているアーティストやクラフト作家等と連携したイベントや、ゼクシィのプロデュースによる若いカップル向けイベントを新たに開催し、人気を博した。

⑦ アスパムお正月イベント

各ショップの初売り・福袋企画や、新年の縁起物「門松」「鏡餅」の設置、お正月大抽選会などを行い集客に努めた。また子ども向けのミニ四駆コーナーや子年フォトスポット、津軽凧絵の絵付け体験、エネルギー館の新春イベントも家族連れに好評だった。

⑧ アスパム冬まつり

テナント企画を中心に、来館者へのサービス向上を図った。また、中泊町と物産展を併催し、「たこのかまゆで」や「金多豆蔵人形劇一座」の公演を行った。子供も楽しめるクラフトの出店者を集め、体験メニューも充実させた。

⑨ 冬季集客イベントの誘致

冬季間の誘客対策として、県内各地でクラフトイベントを主催している団体と協力し、冬季間の集客に努めた。

(4) テナント事業

本県の産業振興と雇用促進を図るため、雇用支援の情報提供施設として、ハローワーク関連施設やジョブカフェ等が入居しているが、さらに8月に、中高年齢者の就職支援を行う「ネクストキャリアセンターあおもり」が7階に入居し、活動を開始した。

(5) 貸会議室事業

館内の会議室を本県の観光、物産、郷土芸能、産業、文化、食などの振興につながる地域おこし事業の活動の場、若年者の雇用促進のための職業相談や各種セミナー、教育旅行で来館する学校や教育旅行団体の体験学習の会場として貸出しし、本県観光及び産業の振興に寄与した。

(6) PRホール運営事業

本県の観光と産業の振興を図るため、アスパム1・2階において、県内市町村の郷土芸能や祭り、地場産品や伝統芸能等を映像や展示・実演で紹介したほか、市町村の情報や文化資源・地場産品等の魅力をPRする市町村ホール等を運営した。また、本県を代表する伝統芸能である津軽三味線の無料演奏会や県立美術館等との連携展を開催した。

3 収益事業

(1) イベントスペース

土日祝日以外の平日や閑散期の貸出し増加に向け、利用者の新規開拓を行うほか、1階エントランスホール及び2階青い森ホール並びに13階展望台等の認知度を向上させ、利用拡大を図った。

(2) 貸会議室

WEB上からの予約申込みや空室状況システムが定着しつつあるため、事務処理を含めた更なる高度化を図るとともに、会議室の利用率向上に向け利用の多い業種や新規職種への営業活動を積極的に行った。

(3) テナント事業

青森県産にこだわった特色ある土産品店（5店舗）と飲食店（3店舗）において、青森県の物産と食の魅力を提供した。

(4) 青森県観光物産館駐車場管理等運営事業

アスパムの一般駐車場及び大型バス駐車場収入は、収益の大きな柱となっていることから、増収を図るため、利便性・優位性について積極的にPRするとともに近隣のホテル・企業等への駐車場の各種営業や、大型バスの営業についても積極的にPRした。

(5) 旅行業運営事業

あおりグローバルラウンジ及び旅行会社への販売委託で販売する商品として以下の商品を造成、販売した。今後、青森県内各所を周遊する旅行プランの造成を進めていき、県内観光振興に寄与していく。

- ① エバー航空就航対応商品（4コース）
- ② 体験プラン（手配旅行含む・計9プラン）

第3 令和元年度決算報告書

1 貸借対照表

(令和2年3月31日現在)

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等 会 計	法人会計	内部取引 消 去	合 計
I 資産の部					
1 流動資産					
現金預金	8,479,925	49,262,179	315,695	0	58,057,799
未収金	23,560,131	2,351,851	0	0	25,911,982
前払金	913,548	21,100	0	0	934,648
立替金	580,974	0	0	0	580,974
棚卸資産	7,589,284	35,226	0	0	7,624,510
他会計へ振替	9,882,836	4,023,717	0	△13,906,553	0
流動資産合計	51,006,698	55,694,073	315,695	△13,906,553	93,109,913
2 固定資産					
(1)特定資産					
退職給付引当資産	45,623,232	15,434,893	388,450	0	61,446,575
出資金引当資産	20,500,000	0	0	0	20,500,000
活性化積立引当資産	2,075,750	585,475	0	0	2,661,225
預り保証金引当資産	0	16,996,000	0	0	16,996,000
特定資産合計	68,198,982	33,016,368	388,450	0	101,603,800
(2)その他固定資産					
展示物	49,880,518	16,712,095	53,677	0	66,646,290
什器備品	118,495,858	1,706,894	19,219	0	120,221,971
投資有価証券	0	1,500,000	0	0	1,500,000
保証金	0	2,400,000	0	0	2,400,000
出資金引当資産	0	100,000	0	0	100,000
その他固定資産合計	168,376,376	22,418,989	72,896	0	190,868,261
固定資産合計	236,575,358	55,435,357	461,346	0	292,472,061
資産合計	287,582,056	111,129,430	777,041	△13,906,553	385,581,974
II 負債の部					
1 流動負債					
未払金	39,512,267	279,704	7,392	0	39,799,363
前受金	0	4,397,988	0	0	4,397,988
預り金	696,692	0	0	0	696,692
仮受金	6,024	605,515	0	0	611,539
賞与引当金	4,183,150	1,314,120	84,833	0	5,582,103
他会計から振替	0	13,623,590	282,963	△13,906,553	0
流動負債合計	44,398,133	20,220,917	375,188	△13,906,553	51,087,685
2 固定負債					
退職給付引当金	45,623,232	15,434,893	388,450	0	61,446,575
預り保証金	0	16,996,000	0	0	16,996,000
固定負債合計	45,623,232	32,430,893	388,450	0	78,442,575
負債合計	90,021,365	52,651,810	763,638	△13,906,553	129,530,260
III 正味財産の部					
1 指定正味財産					
地方公共団体補助金等	145,210,724	0	0	0	145,210,724
指定正味財産合計	145,210,724	0	0	0	145,210,724
(うち特定資産への充当額)	(20,500,000)	(0)	(0)	(0)	(20,500,000)
2 一般正味財産	52,349,967	58,477,620	13,403	0	110,840,990
(うち特定資産への充当額)	(2,075,750)	(585,475)	(0)	(0)	(2,661,225)
正味財産合計	197,560,691	58,477,620	13,403	0	256,051,714
負債及び正味財産合計	287,582,056	111,129,430	777,041	△13,906,553	385,581,974

2 正味財産増減計算書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計		
	観 光 振 興 事 業	青 森 県 観 光 物 産 館 管 理 運 営 事 業	共 通
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	0	0	2,066
受取事業費	42,313,000	0	0
観光振興事業	79,086,631	156,114,608	0
青森県観光物産館	79,086,631	0	0
管理運営事業	0	156,114,608	0
青森県観光物産館イベント	0	0	0
スペース・貸会議室事業	0	0	0
青森県観光物産館	0	0	0
テナント賃貸事業	0	0	0
青森県観光物産館	0	0	0
駐車場管理運営事業	0	0	0
旅行業運営事業	0	0	0
受取補助金等	27,802,863	28,454,966	0
受取負担金	2,639,060	2,766,300	3,117,520
雑収益	0	0	545,944
経常収益計	151,841,554	187,335,874	3,665,530
(2) 経常費用			
事業費	189,916,889	251,024,632	23,216,974
管理費	0	0	0
経常費用計	189,916,889	251,024,632	23,216,974
当期経常増減額	△38,075,335	△63,688,758	△19,551,444
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	2	2	0
経常外費用計	2	2	0
当期経常外増減額	△2	△2	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△38,075,337	△63,688,760	△19,551,444
他会計振替額	0	0	75,537,427
当期一般正味財産増減額	△38,075,337	△63,688,760	55,985,983
一般正味財産期首残高	△91,702,184	△241,901,437	431,731,702
一般正味財産期末残高	△129,777,521	△305,590,197	487,717,685
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	△21,255,025	0
指定正味財産期首残高	0	145,965,749	20,500,000
指定正味財産期末残高	0	124,710,724	20,500,000
III 正味財産期末残高	△129,777,521	△180,879,473	508,217,685

(注) 重要な非損益取引

1 公益目的事業会計

固定資産取得支出
什器備品購入支出

9,936,000円

(単位 円)

小 計	収 益 事 業 等 会 計			
	青森県観光物産館 イベントスペース・ 貸会議室事業	青森県観光物産館 テナント賃貸事業	青森県観光物産館 駐車場管理運営 事業	旅行業運営事業
2,066	0	0	0	0
42,313,000	0	0	0	0
235,201,239	52,111,994	110,049,051	55,506,200	3,496,544
79,086,631	0	0	0	0
156,114,608	0	0	0	0
0	52,111,994	0	0	0
0	0	110,049,051	0	0
0	0	0	55,506,200	0
0	0	0	0	3,496,544
56,257,829	943,715	738,720	712,865	533,725
8,522,880	0	0	0	0
545,944	0	750,000	0	0
342,842,958	53,055,709	111,537,771	56,219,065	4,030,269
464,158,495	41,604,654	43,882,101	26,846,935	10,124,484
0	0	0	0	0
464,158,495	41,604,654	43,882,101	26,846,935	10,124,484
△121,315,537	11,451,055	67,655,670	29,372,130	△6,094,215
0	0	0	0	0
4	0	0	2	0
4	0	0	2	0
△4	0	0	△2	0
△121,315,541	11,451,055	67,655,670	29,372,128	△6,094,215
75,537,427	0	0	0	0
△45,778,114	11,451,055	67,655,670	29,372,128	△6,094,215
98,128,081	57,597,810	269,864,349	93,735,710	△5,984,957
52,349,967	69,048,865	337,520,019	123,107,838	△12,079,172
△21,255,025	0	0	0	0
166,465,749	0	0	0	0
145,210,724	0	0	0	0
197,560,691	69,048,865	337,520,019	123,107,838	△12,079,172

科 目	収 益 事 業 等 会 計		法 人 会 計
	共 通	小 計	
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	0	0	0
受取事業費	0	0	7,467,000
観光振興事業	813,241	221,977,030	0
青森県観光物産館	0	0	0
管理運営事業	813,241	813,241	0
青森県観光物産館イベント	0	52,111,994	0
スペース・貸会議室事業	0	0	0
青森県観光物産館	0	110,049,051	0
テナント賃貸事業	0	0	0
青森県観光物産館	0	55,506,200	0
駐車場管理運営事業	0	3,496,544	0
旅行業運営事業	0	2,929,025	1,084,522
受取補助金等	0	0	0
取負担金	0	1,284,859	0
雑収益	534,859	1,284,859	0
経常収益計	1,348,100	226,190,914	8,551,522
(2) 経常費用			
事業費	26,123,782	148,581,956	0
管理費	0	0	8,542,824
経常費用計	26,123,782	148,581,956	8,542,824
当期経常増減額	△24,775,682	77,608,958	8,698
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	2	0
経常外費用計	0	2	0
当期経常外増減額	0	△2	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△24,775,682	77,608,956	8,698
他会計振替額	△75,537,427	△75,537,427	0
当期一般正味財産増減額	△100,313,109	2,071,529	8,698
一般正味財産期首残高	△358,806,821	56,406,091	4,705
一般正味財産期末残高	△459,119,930	58,477,620	13,403
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	△459,119,930	58,477,620	13,403

(単位 円)

内部取引消去	合 計
0	2,066
0	49,780,000
0	457,178,269
0	79,086,631
0	156,927,849
0	52,111,994
0	110,049,051
0	55,506,200
0	3,496,544
0	60,271,376
0	8,522,880
0	1,830,803
0	577,585,394
0	612,740,451
0	8,542,824
0	621,283,275
0	△43,697,881
0	0
0	6
0	6
0	△6
0	△43,697,887
0	0
0	△43,697,887
0	154,538,877
0	110,840,990
0	△21,255,025
0	166,465,749
0	145,210,724
0	256,051,714

3 財 産 目 録

(令和2年3月31日現在)

(単位 円)

貸借対照表科目		金 額
(流動資産)	現金預金	58,057,799
	未収金	25,911,982
	前払金	934,648
	立替金	580,974
	棚卸資産	7,624,510
流動資産合計		93,109,913
(固定資産)		
特定資産	退職給付引当資産	61,446,575
	出資金引当預金	20,500,000
	活性化積立資産	2,661,225
	預り保証金引当資産	16,996,000
		101,603,800
その他固定資産	展示物	66,646,290
	什器備品	120,221,971
	投資有価証券	1,500,000
	保証金	2,400,000
	出資金	100,000
		190,868,261
固定資産合計		292,472,061
資 産 合 計		385,581,974
(流動負債)		
	未払金	39,799,363
	前受金	4,397,988
	預り金	696,692
	仮受金	611,539
	賞与引当金	5,582,103
流動負債合計		51,087,685
(固定負債)		
	退職給付引当金	61,446,575
	預り保証金	16,996,000
固定負債合計		78,442,575
負 債 合 計		129,530,260
正 味 財 産		256,051,714

4 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有、関連会社以外の有価証券・・・移動平均法に基づく原価法によっている。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
最終仕入原価法に基づく原価法によっている。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産
展示物及び什器備品・・・定額法によっている。
- (4) 引当金の計上基準
賞与引当金・・・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
退職給付引当金・・・職員の退職給付の支給に備えるため、自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。
- (6) リース取引の処理方法
リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位 円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特 定 資 産				
退職給付引当資産	59,110,759	2,335,816	0	61,446,575
出資金引当預金	20,500,000	0	0	20,500,000
活性化積立引当資産	2,661,225	0	0	2,661,225
預り保証金引当資産	16,996,000	0	0	16,996,000
合 計	99,267,984	2,335,816	0	101,603,800

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位 円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特 定 資 産				
退職給付引当資産	61,446,575	(0)	(0)	(61,446,575)
出資金引当預金	20,500,000	(20,500,000)	(0)	(0)
活性化積立引当資産	2,661,225	(0)	(2,661,225)	(0)
預り保証金引当資産	16,996,000	(0)	(0)	(16,996,000)
合 計	101,603,800	(20,500,000)	(2,661,225)	(78,442,575)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位 円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
展 示 物	623,749,430	557,103,140	66,646,290
什 器 備 品	326,478,756	206,256,785	120,221,971
合 計	950,228,186	763,359,925	186,868,261

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位 円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残 高	当 期 増加額	当 期 減少額	当期末 残 高	貸借対照表上 の記載区分
訪日外国人旅行者 周遊促進事業費補助 金	観光庁	0	2,330,196	2,330,196	0	-
観光振興事業費補助 金(世界水準の DMO形成推進事 業)	観光庁	0	6,767,360	6,767,360	0	-
キャッシュレス・ 消費者還元事業 (加盟店手数料補 助事業)補助金	経済産業省	0	20,538	20,538	0	-
あおもりMICE 誘致活動事業補助 金	青森県	0	704,257	704,257	0	-
あおもり大規模M ICE開催費助成 事業補助金	青森県	0	13,000,000	13,000,000	0	-
観光事業振興費補 助金	青森県	0	910,000	910,000	0	-
青森県観光連盟運 営費補助金	青森県	0	9,234,000	9,234,000	0	-
青森県観光物産館 アスパム内市町村 ホール管理運営費 補助金	(公財) 青森 県市町村振興 協会	0	4,050,000	4,050,000	0	-
むつ小川原・産業 振興プロジェクト 支援助成金	(公財) むつ 小川原・産業 振興財団	0	2,000,000	2,000,000	0	-
青森県インバウン ド受入拠点体制構 築事業費補助金	青森県	145,965,749	0	21,255,025	124,710,724	指定正味財産
合 計		145,965,749	39,016,351	60,271,376	124,710,724	

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位 円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	21,255,025
合 計	21,255,025

7 重要な後発事象

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、当該影響が長引けば、当連盟の事業運営及び財政状態に重要な影響を与える可能性がある。なお、提出日現在では当該影響額を合理的に算定することは困難である。

8 その他

(1) 退職給付関係

① 採用している退職給付制度の概要

中退共制度と退職給付引当金を併存している。

② 退職給付会計の計算の基礎に関する事項

退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

(2) 特定資産

① 活性化積立引当資産

青森県観光物産館管理運営における活性化策に備え計上している。

5 附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表に対する注記に記載しているため省略している。

2 引当金の明細

引当金の明細については、次のとおりである。

(単位 円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	5,280,190	5,582,103	5,280,190	0	5,582,103
退職給付引当金	59,110,759	2,335,816	0	0	61,446,575